

1 学力向上検討委員会構成

学 力 向 上 検 討 委 員		
	職名・校務等担当名	氏名
管理職	校長 教頭 教頭	真鍋朱実 久米康博 多田郁子
学力向上推進員	教諭(教務課長)	秋田晴代
委員	教諭・学部長 教諭(教務課長)	桑原郁代 秋田晴代

2 学力・学習状況における現状分析, 目標等

【3つの視点】

- (1) 基礎的・基本的な知識・技能の習得
- (2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成
- (3) 主体的に学習に取り組む態度の育成

( 小 学 部 ) 児 童 の 状 況			
よ	作品展の実施は3回, 地域の行事には9割の児童が参加できた。作品展開催によって作品作りの意欲向上が図られたり地域の行事参加を楽しみにできるようになった。	課題 作品展開催の場所を変えて啓発活動を行い, 地域の行事に継続して参加し地域社会との関わりを増やしていく。	
	具体的目標(目指す子どもの姿)	成果指標	達成状況
	①地域社会と関わりを持つ活動を行い, 地域社会を意識したり地域行事に参加して体験を深める。また, 学習意欲の向上を図り働く事への基礎的な力を培う。 ②自分のしたいことやして欲しいこと, 好きな遊びを伝えて教員や友達と関わりを持って活動する。	①作品展及び見学を年1回以上, 地域行事での体験を年2回以上行う。課題学習や御用学習を週3回以上行う。 ②自分の意思を週3回以上伝えて活動し, 遊びの学習を毎月2回以上実施する。	評価
	具体的方策(教員の取組)	取組指標	取組状況
	①作品作りの意欲を高める。作品展見学や地域行事への参加を計画し児童が目標を持って活動できるようにする。 ②児童が自分の意思を表現するためのジグや方法を工夫し提示する。 * 中間期の見直し	①作品展及び見学, 地域行事への参加の機会を設定する。継続した学習場面を設定する。 ②自分で遊びを工夫したり教員や友達と意欲的に関わって遊べる時間や場面を設定する。	
達成状況を踏まえた改善事項			